

## 令和3年度 沖縄県特別支援教育の現状

沖縄県特別支援教育研究会  
会長 大城 政之

### 1. 特別支援学校等の設置状況

#### ○ 小学校特別支援学級の児童数・学級数

|          | 児童数  |                |                | 学級数  |                |               |
|----------|------|----------------|----------------|------|----------------|---------------|
|          | 令和元年 | 令和2年           | 令和3年           | 令和元年 | 令和2年           | 令和3年          |
| 知的障害     | 1857 | 2065           | 2211           | 339  | 363            | 393           |
| 言語障害     | 86   | 109            | 132            | 38   | 45             | 53            |
| 自閉症・情緒障害 | 2612 | 3187           | 3554           | 449  | 515            | 553           |
| 肢体不自由    | 45   | 53             | 67             | 34   | 40             | 45            |
| 病弱・身体虚弱  | 41   | 53             | 57             | 24   | 39             | 44            |
| 弱視       | 5    | 6              | 5              | 5    | 6              | 5             |
| 難聴       | 23   | 31             | 31             | 18   | 24             | 22            |
| 合計       | 4669 | 5504<br>(835▲) | 6057<br>(553▲) | 907  | 1032<br>(125▲) | 1115<br>(83▲) |

障害種別の児童数をみると、前年度比（今年度÷前年度）で肢体不自由が26%▲、言語障害が21%▲と順に増加率が高く、一昨年度比（今年度÷一昨年度）では知的障害・弱視を除くすべての障害種で30%以上▲となっている。児童数合計では、前年度比10%▲の増加傾向にあるが、今年度は前年度と比較すると増加率が8%低いやや緩やかな増加となっている。

#### ○ 中学校特別支援学級の児童数・学級数

|          | 生徒数  |                |                | 学級数  |              |              |
|----------|------|----------------|----------------|------|--------------|--------------|
|          | 令和元年 | 令和2年           | 令和3年           | 令和元年 | 令和2年         | 令和3年         |
| 知的障害     | 780  | 830            | 941            | 153  | 158          | 173          |
| 言語障害     | 14   | 12             | 5              | 10   | 10           | 4            |
| 自閉症・情緒障害 | 842  | 990            | 1235           | 162  | 186          | 221          |
| 肢体不自由    | 8    | 22             | 13             | 7    | 12           | 13           |
| 病弱・身体虚弱  | 16   | 21             | 33             | 12   | 16           | 25           |
| 弱視       | 2    | 4              | 4              | 2    | 4            | 4            |
| 難聴       | 17   | 15             | 15             | 12   | 12           | 13           |
| 合計       | 1679 | 1894<br>(215▲) | 2246<br>(352▲) | 358  | 398<br>(40▲) | 453<br>(55▲) |

障害種別の生徒数をみると、前年度比で病弱・身体虚弱が57%▲、肢体不自由が41%▲、自閉症・情緒障害が25%▲と順に増加率が高く、一昨年度比では言語障害・難聴を除くすべての障害種で20%以上▲となっており、身体虚弱・弱視については一昨年度と比べて2倍以上の増加となっている。生徒数全体では、前年度比19%▲の増加傾向にあり、小学校とは違って今年度は前年度よりもさらに増加率が6%高くなっている。

#### ○ 特別支援学校の幼児児童生徒数

令和3年度現在、県内の特別支援学校は、知的障害13校（うち知肢併置2校・高等支援学校5校、全障害種2校）、肢体不自由5校（うち肢病併置2・分校1校）、病弱1校、盲学校1校、ろう学校1校の計21校がある。

|       | 幼児児童生徒数 |               |               | 学級数  |             |              |
|-------|---------|---------------|---------------|------|-------------|--------------|
|       | 令和元年    | 令和2年          | 令和3年          | 令和元年 | 令和2年        | 令和3年         |
| 知的障害  | 1915    | 2006          | 2048          | 444  | 456         | 467          |
| 肢体不自由 | 323     | 309           | 319           | 130  | 125         | 127          |
| 病弱    | 38      | 30            | 29            | 16   | 12          | 14           |
| 視覚障害  | 54      | 44            | 43            | 22   | 20          | 20           |
| 聴覚障害  | 44      | 34            | 35            | 20   | 17          | 18           |
| 合計    | 2374    | 2423<br>(49▲) | 2474<br>(51▲) | 632  | 630<br>(2▲) | 646<br>(16▲) |

障害種別の幼児児童生徒数をみると、前年度比で肢体不自由・聴覚障害が3%▲、知的障害が2%▲と小・中学校に比べるとほとんど増加がみられないが、一昨年度比で見ると知的障害については7%▲と他障害に比べて増加率が高い。

## 2. 特別支援教育に関する施策

- (1) インクルーシブ教育システム体制整備事業（管理職悉皆研修・特別支援コーディネーター研修）
- (2) 合理的配慮に係る教育支援機器等整備事業
- (3) 高等学校における特別支援教育支援員配置事業
- (4) 特別支援学校におけるキャリア教育・就労支援の充実事業
- (5) 特別支援学校の専門性向上事業（技能検定を含む）
- (6) 免許法認定講習の実施
- (7) 特別支援学校における外部専門家活用事業
- (8) 特別支援学校における医療的ケア体制整備事業
- (9) スクールカウンセラー配置事業
- (10) 「沖縄県立那覇みらい支援学校」の新設（開校準備室設置、令和4年4月開校予定）
- (11) 島尻特別支援学校「真和志高等学校分教室」の設置
- (12) 「県立特別支援学校編成整備計画（令和4年度～）」の策定

## 3. 研究会の活動状況・計画

### (1) 会の目的

沖縄県特別支援教育研究会（沖特研）は、特別な教育的支援を必要とする知的障害のある幼児・児童・生徒の教育の発展と、実践研究の推進に寄与することを目的としている。

### (2) 沿革

沖特研は、昭和40年6月に「沖縄県特殊教育研究会」として設立された。平成14年度に会の名称を「沖縄県特別支援教育研究会」に変更し、令和3年現在では沖縄本島と宮古・八重山地方などの離島地域を含め、知的障害特別支援学級を設置する小・中学校8支部（地区の研究会を含む）と特別支援学校（高等特別支援学校を含む）13支部で組織されている。

### (3) 今年度の事業計画

| 日にち      | 内容  | 研修                               |
|----------|---|----------------------------------|
| 6/22(火)  | 第1回 評議員会  | 研修①「これまでの取り組みと課題」「今年度の研究計画および方法」 |
| 7/30(金)  | 令和3年度 総会  | 研修②「演題未定(会長による基調講演)」             |
| 10/22(金) | 第2回 評議員会  | 研修③「各学部・教科における教育課程の編成」「授業改善研究」   |
| 11/2(金)  | 分科会関係者会   | 研修④「グループワーク」「一貫性と系統性の確保」         |
| 12/17(金) | 第49回 沖縄県特別支援教育研究大会<br>【大会主題】新しい時代に生きる力を育む特別支援教育の展開<br>～一貫性・系統性のある学びの保障をめざして～<br>・記念講演「演題未定」<br>講師：分藤賢之（文部科学省初等中等教育局 視学官）<br>・公開授業 分科会 |                                  |
| 2/25(金)  | 第3回 評議員会  | 研修⑤「今年度の成果報告」                    |

※ 今年度はすべてオンライン開催

### (4) 沖特研ニューノーマル（案）

本研究会からの沖縄県情緒教育研究会の独立を踏まえた会の再編、またウィズコロナ・アフターコロナや働き方改革などの昨今の社会情勢を踏まえ、以下の4点を今年度の評議員会で提案。

- ① コミュニティーの構築：Teams を活用した情報ネットワークの作成など
- ② 積極的な情報発信：ホームページのリニューアルと充実化など
- ③ オンラインの活用：Zoom 等の活用や研修会・研究大会のオンデマンド配信など
- ④ 運営の見直し：研究会の趣旨・組織体制の明確化など